



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 よみうりランド

コード番号 9671 URL <http://www.vomiuriland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関根 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部担当

(氏名) 小林 利光

TEL 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,840	△4.8	1,234	△15.8	1,335	△15.0	771	△20.7
23年3月期第2四半期	8,238	9.9	1,466	9.5	1,570	14.1	973	27.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 551百万円 (143.3%) 23年3月期第2四半期 226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.77	—
23年3月期第2四半期	12.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	52,107		17,980		34.5
23年3月期	53,181		17,626		33.1

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 17,980百万円 23年3月期 17,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,795	△3.0	1,442	△27.1	1,564	△26.1	918	△21.8	11.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	83,522,024 株	23年3月期	83,522,024 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,531,821 株	23年3月期	4,531,564 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	78,990,039 株	23年3月期2Q	79,966,461 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
 - (1) 連結経営成績に関する定性的情報……………2
 - (2) 連結業績予想に関する定性的情報……………3
2. サマリー情報（その他）に関する事項
 - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……………3
3. 四半期連結財務諸表
 - (1) 四半期連結貸借対照表……………4
 - (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……………6
 - (3) 継続企業の前提に関する注記……………8
 - (4) セグメント情報……………8
 - (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……………8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による電力供給の制約や原発事故の影響に加え、円高傾向や海外景気の下振れ懸念等があり不透明な状況で推移しました。当社グループの関連する業界におきましても、個人消費は持ち直しの傾向があるものの依然として低水準であり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社は募金活動などの被災者支援や義援金の寄付、また節電対策などに取り組みとともに、売上確保へ向けた積極的な営業展開を図りました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同期比1日増の32日開催されました。電力供給の制約のもと、5月から節電対策を講じたナイト競馬を実施し、重賞競走は6月の「関東オークス」、7月の「スーパーキングレディーカップ」などが開催されました。船橋競馬は、震災と台風15号の影響による本場開催中止により、前年同期比10日減の19日開催されました。5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され盛り上がりを見せました。また、9月には重賞競走の「日本テレビ盃」が開催されたほか、近隣商業施設とコラボレーションした親子で楽しめるイベント「おうまフェス 2011～親子であそぼ。～」を開催し好評を博しました。船橋オートレースは、震災の影響により4月の本場開催が中止となったため、前年同期比9日減の29日開催され、5月にはG I「黒潮杯」が行われました。また、7月には44年ぶりの女性オートレーサーがデビューし、話題となりました。なお、上記のほか、川崎競馬場97日、船橋競馬場107日、船橋オートレース127日の場外発売を実施しております。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同期比6日減の176日実施されました。近隣施設が震災の影響で開催を見送るなか、4月1日より稼働し、多くのファンが来場しました。9月には繁忙日対策として有料席を増設し、顧客ニーズに対応しました。

なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬及び船橋競馬は1日減、船橋オートレースは1日増の予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、積極的な外部営業によりコンペを獲得したことなどにより入場者が増加しました。また、復興支援としてチャリティコンペを実施しました。よみうりゴルフ倶楽部は、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携したディナーイベントなどを実施し好評を博しました。また、外部営業に積極的に取り組みましたが、震災による自粛ムードが影響しゲストの利用が減少したため、入場者は減少しました。静岡よみうりカントリークラブは、節電の影響による企業の土・日曜日操業により木・金曜日の入場者が増加したことに加え、土・日曜日に、来場者減少の歯止め策を実施した結果、入場者は増加しました。千葉よみうりカントリークラブは、企業の土・日曜日操業対策として、夏場に土・日・祝日の割引料金企画「サマーミッション」を実施し、多くのマスコミに取り上げられたことなどにより、入場者は増加しました。

遊園地部門の遊園地では、ゴールデンウィークの「ご当地グルメ」、6月の「ほたるの宵」、夏には恒例の「スプラッシュバンデット」やリニューアルしたおけけ屋敷「闇霊村(やみろうむら)～女武士～」、9月には「サンマ祭と東北うまいものフェア」のほか、EASTでは多数のアイドルイベントなどを展開しました。その結果、ゴールデンウィークや8月は過去10年間で最高の入園者を記録したものの、震災の影響による団体利用減などにより入園者は減少しました。プールWAIは、昨年から実施し好評を博している「ダンスプラッシュ」をリニューアルして実施したほか、夜間のビアガーデンの営業や、オリジナルのおもちゃのアヒル「チョイわるアヒル」を用いたレース大会が盛り上がりを見せました。この結果、入場者は休日の天候不順などが影響し前年を下回ったものの、プールWAI開場以来2番目の入場者数を記録

しました。温浴施設「丘の湯」は、回数券利用が堅調に推移し、「季乃彩」は、ポイント2倍デーや朝風呂などのサービスが好評を博し、前年並みの入場者となりました。ゴルフガーデン（練習場）は、様々な顧客サービスイベントを実施するなど集客に努めましたが、震災の影響で営業時間を短縮したことなどにより入場者は減少しました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は、震災の影響による減収に伴い67億2千1百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより7億8千4百万円（同9.0%増）、サポートサービス事業の売上高は、工事の受注が減少したことなどにより9億5千6百万円（同6.1%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は78億4千万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は12億3千4百万円（同15.8%減）、経常利益は13億3千5百万円（同15.0%減）、四半期純利益は7億7千1百万円（同20.7%減）となりました。

（2）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、東日本大震災の影響による減収が当初の見込みより少なかったことに加え、販売用宅地の分譲が予想より増加したことや、実施予定の整備費等の一部が第3四半期以降に繰り越されていることなどにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初見込みを上回りましたが、通期の業績につきましては、上述の整備費等の発生が第3四半期以降に見込まれることや、今後の景気動向や天候等の不確定要因が多いことから、平成23年5月13日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,195,562	6,195,929
受取手形及び売掛金	747,813	773,884
たな卸資産	269,281	248,954
繰延税金資産	177,760	132,432
その他	81,710	165,396
貸倒引当金	△83	△273
流動資産合計	7,472,045	7,516,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,754,884	17,998,492
土地	17,876,407	17,878,853
建設仮勘定	231,368	216,380
その他(純額)	818,638	789,803
有形固定資産合計	37,681,298	36,883,530
無形固定資産		
その他	82,947	86,176
無形固定資産合計	82,947	86,176
投資その他の資産		
投資有価証券	7,163,503	6,800,931
繰延税金資産	583,630	583,016
その他	198,549	237,432
投資その他の資産合計	7,945,683	7,621,380
固定資産合計	45,709,929	44,591,088
資産合計	53,181,974	52,107,412
負債の部		
流動負債		
営業未払金	629,425	292,470
短期借入金	3,100,000	3,065,000
1年内返済予定の長期借入金	1,207,400	1,526,800
未払法人税等	417,762	518,520
賞与引当金	119,005	109,541
災害損失引当金	103,711	7,722
その他	1,327,470	1,083,204
流動負債合計	6,904,776	6,603,261
固定負債		
長期借入金	3,285,600	2,522,200
繰延税金負債	841,292	627,778
退職給付引当金	579,133	615,321
役員退職慰労引当金	108,250	95,016
長期預り金	23,543,263	23,371,009
その他	292,829	292,414
固定負債合計	28,650,369	27,523,740
負債合計	35,555,145	34,127,001

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,627	4,730,578
利益剰余金	7,620,193	8,194,452
自己株式	△1,612,749	△1,612,775
株主資本合計	16,791,102	17,365,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835,726	615,124
その他の包括利益累計額合計	835,726	615,124
純資産合計	17,626,828	17,980,410
負債純資産合計	53,181,974	52,107,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,238,655	7,840,489
売上原価	5,952,933	5,808,902
売上総利益	2,285,722	2,031,587
販売費及び一般管理費	819,400	796,971
営業利益	1,466,322	1,234,615
営業外収益		
受取利息	1,096	569
受取配当金	120,968	117,646
その他	35,202	24,542
営業外収益合計	157,267	142,757
営業外費用		
支払利息	52,914	42,120
その他	47	221
営業外費用合計	52,962	42,341
経常利益	1,570,627	1,335,031
特別利益		
固定資産売却益	2,007	—
受取補償金	89,180	100,000
特別利益合計	91,187	100,000
特別損失		
固定資産除却損	56,892	153,513
減損損失	—	52,170
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,952	—
特別損失合計	144,845	205,683
税金等調整前四半期純利益	1,516,968	1,229,347
法人税、住民税及び事業税	590,696	483,214
法人税等調整額	△46,783	△25,602
法人税等合計	543,913	457,612
少数株主損益調整前四半期純利益	973,055	771,735
四半期純利益	973,055	771,735

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	973,055	771,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△746,563	△220,601
その他の包括利益合計	△746,563	△220,601
四半期包括利益	226,492	551,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,492	551,133
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,193,251	718,703	326,701	8,238,655	—	8,238,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,703	900	692,053	699,657	△699,657	—
計	7,199,954	719,603	1,018,754	8,938,313	△699,657	8,238,655
セグメント利益	1,737,012	406,425	72,379	2,215,817	△749,495	1,466,322

(注)1 セグメント利益の調整額△749,495千円には、セグメント間取引消去△3,398千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△746,096千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,714,932	783,450	342,106	7,840,489	—	7,840,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,196	900	614,296	621,393	△621,393	—
計	6,721,128	784,350	956,403	8,461,883	△621,393	7,840,489
セグメント利益	1,442,851	450,484	68,492	1,961,828	△727,212	1,234,615

(注)1 セグメント利益の調整額△727,212千円には、セグメント間取引消去2,238千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△729,451千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合レジャー事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては52,170千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。